

市民環境大学OB会 ニュースレター



第6号 2016年1月21日 発行

多摩川 福生にて 野鳥シメ?

「田中さん 沢庵和尚について紹介！」

10月の定例OB会において、田中さんからリクエストに応じて、江戸初期の京都・大徳寺の住持であった沢庵和尚について紹介がありました。田中さんは沢庵について深く研究されており、当日は和尚の残した当時の上山藩の藩主に説いた政治の要諦“上中下三字説”や自分の死後の対応を徹底的に戒めた14項目の“遺戒”などを解説頂き、人としてのあるべき姿、特に上に立つ人間の考え方など、時を超えて通じるものを感じました。以下、投稿して頂いた文を紹介します。

投稿

沢庵の『遺戒』を読んで……

田中 徹

沢庵は戦国時代から江戸初期を生きた反骨心に富み人間味豊かな大変魅力的な禅僧です。吉川英治が小説『宮本武蔵』で創作までして沢庵を登場させ武蔵の師としたことも頷けます。沢庵は京都・大徳寺の住持で紫衣事件で出羽の国・上山に流罪になり後に家忠の死による大赦で赦免されます。その後、本人は不本意だったかもしれませんが家光の近侍になります。

沢庵が残した『上中下三字説』『太阿記』『遺戒』などを読むと組織論、運動論、平等思想、環境問題などを考えさせられる内容を含んでいます。『遺戒』は十四項にわたり細かく書かれ葬式や法事、墓をつくることを拒否しています。

今回は沢庵の遺戒から墓地と環境問題を考察してみます。

現在の墓事情はどうでしょうか。

新聞一面の墓地販売広告やチラシ広告など墓地販売は活発です。八王子・日野も墓園が多く開発による自然破壊が進み緑が失われています。宗教団体の大墓園墓地販売、寺の墓地販売も多いです。しかし墓地販売が活発なのは都会だけで地方の墓事情は深刻です。墓の相続者が不明で空き墓地が多く、荒廃し廃棄もできない墓石も山積しています。地方経済沈下をもろに受けているのです。空き家が多くなった今の住宅状況にも似ています。

この背景には江戸・明治の封建時代の風習制度をひきずった《家制度一家の墓一檀家制度一寺》の図式があります。これは人口移動禁止の上に成り立つ制度です。しかし明治以降の生産の向上、資本の集中による急速な都会への人口移動が進み図式の墓地維持管理システムは崩壊したのです。最近では墓地、葬儀も多様になってきました。私も終活を考える年齢です。沢庵のような自然環境に優しい終わり方、大地、大海へ戻る散骨が良いと考えています。暗い墓の中より『干の風になって』の気分ですら自然環境を守りたいと思います。皆さんはどう考えますか。

「昨年後半のNO₂測定参加と河原さんから測り方の紹介！」

OB会では12月3日から4日にかけて昨年後半のNO₂測定に参加しました。OB会としてももう一段知識を深め具体的測定方法を学ぶのも重要との認識で、10月のOB会時、3期生の方より“二酸化窒素(NO₂)をはかる”という題で窒素酸化物の基礎知識と測定方法についてのレポートが配布されました。以下に概略ですが紹介します。詳細はレポート参照ください。

- (1)大気汚染原因物質としての窒素酸化物は主にNO₂とNOがある。発生メカニズムの一つは高温で物が燃える時に大気中の酸素と窒素が結合する熱的NO_x、他方は燃料自体に窒素を含む燃料NO_xである。
- (2)NO_xによる大気汚染の影響、健康への配慮…太陽光を受けると光化学オキシダントの生成や浮遊性粒状物質(SPM、PM2.5)の生成の一因となる。またこれを原因とした健康被害(ぜんそく)での認定は「東京都大気汚染医療費助成制度」によると毎月800人前後の認定者がいる。
- (3)NO₂の簡易測定法はカプセルによる大気捕集法である。…プラスチック製の直径17mm、全長40mmのカプセル内にNO₂を吸着するトリエタノールアミンを浸み込ませた“ろ紙”を入れ、地上1.5mの高さで口を下向きにして設置する。
- (4)24時間放置してNO₂を吸着させる。
- (5)測定場所、時間、天候、気温、湿度等を記録する。
- (6)ザルツマン試薬による測定…ろ紙に捕捉されたNO₂を試薬により赤紫～ピンク色に発色させ、色の濃さをスポイト式比色計で測定し、指示値に大気中濃度換算係数を掛け大気中濃度(PPM)を求める。